

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	箱膳による食育インストラクター養成及び食育・交流活動推進事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓食育研究会 北安曇郡池田町大字会染 1331-1 090-8326-4375 会長宮澤弘幸
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	548,584 円 (うち支援金: 402,000 円)

事業内容

- 1、 箱膳による食育インストラクターの養成
 - (1) 箱膳の作成
 - (2) 研修会
- 池田町の相道寺ふるさと体験村で箱膳による食事体験
- (3) 視察研修
- いづなアップルミュージアム(飯綱町)箱膳体験
- (4) 「箱膳を用いた食育指導」用の資料作成
 - (5) 農業・農村体験民宿、陶芸体験へ来場する都市生活者へ、箱膳による食体験の実施



【 箱膳体験 】

事業効果

- ①現代の日本人は、箱膳の活用が盛んだった頃より身長も伸びており、食器についても多様化してきている等の理由から少し上げそこにして、サイズは少し大きくした。市販物より角を組んであり強度が非常に高い物ができた。
- ②研修会は手作りの料理を作り、講師に農文協の池田玲子先生を講師に10月8日、池田町の相道寺ふるさと体験村において25名の参加で行ない、箱膳を通しての食育をどう指導するかを会得した。
箱膳体験の先駆地、いづなアップルミュージアム(飯綱町だんごりの会による箱膳体験)10名で行う。「
箱膳を用いた食育指導」用の資料作成。体裁: A4、カラー、10ページ、ホチキス止め30部 会員 池田町公民館に配布。県内希望者にも着払いにて配布対応する。
池田町農業祭での展示、説明 26年10月19日、池田町公民館、来場者: 町内外より約3,000名
- ③都市生活者へ、箱膳による食体験の実施
相道寺ふるさと体験村協議会: 4回、延べ50名
農家の宿あぶらや: 1回、15名

【目標・ねらい】

- ①現代に合わせた箱膳を作る
- ②箱膳による食育インストラクターの養成
- ③都市の方との箱膳体験交流

※自己評価 【 A 】

【理由】

池田町公民館の郷土料理と食文化を研究する講座の参加者にも本事業で作成した箱膳を使った講座を開催して頂き、予定より多くの方に箱膳体験の講習を受けて頂く事ができた。

今後の取り組み

箱膳を使った食事体験により、都市から観光客や食育関係者に箱膳体験をしてもらい、農村の食文化や郷土料理、和食文化の普及に取り組んでいく。そこに農業体験など加えていく。
また池田町から大北地域の食育関係の方、また郷土食の研究保存などに取り組んでいるグループとも連携をとって行きたい。
池田町については、昨年教育長とも箱膳体験についての懇談をもった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある。